

## 【アイデア部門】

### 入選 朝倉 花凜

#### 眼科とロービジョンケアのお繋げ役 「眼科のカウンセラー」

もし、あなたが、眼科で「あなたは今後見るのが不自由になります」と伝えられたらどうなるでしょうか。きっと不安や悲しさなど言葉で表すことはできない感情になると思います。少なくとも「ロービジョンケアに取り組もう」と前向きになるには時間がかかることですし、難しいことです。少しでも多くの視覚障害の方々や治療中の方々が 自分の見え方と付き合い、残った感覚を最大限に生かし、生活をより良く、楽しいものにするために、ロービジョンケアへのお繋げ役が必要と思いました。

既にロービジョンケアを受けて自分の見え方と上手に付き合い、生き活きと生活している当事者の方々に、ロービジョンケアの大切さ、気持ちのサポート、社会支援の知識など、当事者にしか出来ないカウンセリングをする、眼科からロービジョンケアへお繋げする役割を行う「眼科のカウンセラー」になって頂きたいのです。このように当事者がカウンセラーになって、カウンセリングをする環境を病院内でつくることで、直接、ロービジョンケアに繋げる事ができます。また、それだけではなく、そこから医療従事者も沢山のことを学ぶことができるでしょう。眼科のカウンセラーは当事者にしか出来ないものです。

将来、当事者の眼科カウンセラーと一緒に仕事ができる視能訓練士になれば、と思います。

#### 審査員コメント

視力を失う前に経験者である障害をお持ちの方に心の在り方などを教えてもらうことで、心強くと感じました。



朝倉 花凜

東京医薬看護専門学校の2年生です。ロービジョンケアを専攻し、当事者の方々のお話を伺い、ロービジョンケアについて学ぶ機会を頂きました。その経験をいかして、困っている方々の力になれるような視能訓練士を目指して、これからも勉学に励みたいと思います。